大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

おおきに健康 歯とお口から

Vol.02
News Letter

大阪大学歯学部附属病院 広報誌　http://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/

新年 あけまして おめでとうございます

病院長 前田 芳信
ガンバ大阪のマスコットキャラクター、ガンバボーイと

歯学部附属病院は 2015 年もこれまでと同様に安心、安全、快適な環境で診療を受けていただけるよう、改善を続けてゆきたいと考えております。
すでにお気づきのこととは思いますが、当院では患者さんごとにデンタルチェア周りの（タービン、バキューム、スリーウェイシリンジなどの）器具を滅菌したものと交換する体制を整えております。
さらに、本年4月には「口唇裂・口蓋裂・口腔顔面成育治療センター」を開所し、9 月からは矯正科診療室の改修をはじめ、診療環境をより快適なものといたします。
また、皆様のお目に触れない部分ではございますが、当院の重要な部門である歯科技工室などの環境整備にもますます力を入れてゆきたいと考えております。
皆様にとりまして、素晴らしい 1 年になりますよう、心よりご祈念申し上げます。

内面
● 特集 1.
国内外でシンポジウムおよびフォーラム
● 特集 2.
第 15 回年末ふれ愛コンサート
● 特集 3.
コンピューターで作るクラウン
お口の相談コーナー・お口のマメ知識
裏面
● 10 月～ 12 月の統計情報
●病院概要とお知らせ

● 特集 1

国内外でシンポジウムおよびフォーラム

●海外シンポジウム

平成26年11月10日（月）にアメリカ合衆国のサンフランシスコにて大阪大学大学院歯学研究科とカリフォルニア大学サンフランシスコ校（以下、UCSF）によるジョイント・シンポジウムが開催されました。
脇坂聡歯学研究科長およびUCSF歯学部長による開会の挨拶の後、総合テーマ「Current and Future Challenges In Oral Sciences」に基づいて３部構成の講演会が行われました。それぞれのテーマごとに脇坂聡歯学研究科長、前田芳信病院長、村上伸也副病院長およびUCSFの教員が座長として登場し、最新の歯科医療についての講演が行われました。

●海外フォーラム

平成26年11月11日（火）にアメリカ合衆国のカリフォルニア州San JoseおよびSan Mateoにおいて市民フォーラムが開催されました。
フォーラムは脇坂聡歯学研究科長の開会の挨拶のあと「健康増進は口の健康から」との総合テーマのもと、大学院歯学研究科教員３名とUCSFの臨床教授１名が講演を行いました。
前田芳信病院長は「スポーツは良い歯から：噛めば力がでるのか？」と題した講演を行いました。

●第12回「市民フォーラム」開催

平成26年11月15日（土）に千里ライフサイエンスセンター５階のサイエンスホール（千里中央）において「市民フォーラム」を開催しました。
12回目となる今回のフォーラムは、『むし歯と歯周病－予防と治療の新展開－』という総合テーマのもとで開催されました。
フォーラムは、前田芳信病院長の開会の挨拶の後、総合テーマに基づいて、大学院歯学研究科教員ら５名が、「むし歯」と「歯周病」の治療の新しい流れについてお話しするとともに、いかにこれらを予防するかについて講演を行いました。
当日は、会場がほぼ満席となる約２００名の参加者が講演を熱心に聴講し、講演後の総合討論では活発な質疑応答が行われ、最後に、脇坂聡歯学研究科長からの挨拶があり、盛況のうちに閉会しました。

ガンバ大阪が日本サッカー国内3大タイトルを制覇し三冠を達成しました。

大阪大学とフレンドシップ協定を締結しているガンバ大阪は2014シーズン、Jリーグヤマザキナビスコカップ、Jリーグ1部（J1）および天皇杯全日本サッカー選手権大会優勝により日本サッカー国内3大タイトルを制覇しました。

モミの木の植栽について

本院１階にあるカフェのテラス席西隣の植樹帯に、もみの木を植えました。夜間（12月～2月）は飾り付けた電飾によりライトアップしています。

お口の相談コーナー

「嚥下（えんげ）のリハビリってどんなことをするのですか?」

顎口腔機能治療部 部長　阪井　丘芳

食べることはいくつになっても楽しみの一つです。嚥下（飲み込み）は口から取り込んで胃まで送り込む一連の動作からなっています。この嚥下の機能は高齢になると徐々に低下し、うまく飲み込めなくなることがあります。うまく飲み込めなくなると、低栄養や脱水が生じたり、誤嚥（ごえん）による肺炎になりやすくなります。なによりうまく食べられないと食べる楽しみを失うことになるのです。

「飲み込みにくいと感じることはありませんか?」楽しみである食事をいつまでも続けるために、簡単な嚥下リハビリで嚥下の機能低下を防ぎましょう。飲み込むときは首の筋肉が、のど仏を上に引き上げることで食道の入り口が開き飲み込めます。加齢により首の筋力が低下し、のど仏が下に下がってきます。そうするとのど仏が上に上がりにくくなり、食道が開きにくく飲み込んでも、のどに食事が残り飲み込みにくく感じます。そこで、首の筋肉を鍛えると嚥下の機能低下を防ぐ効果があります。家庭でできる簡単な首の筋肉を鍛える嚥下リハビリがおでこ体操（図１）と開口訓練（図２）です。継続して筋力低下を防ぐことが大切なので、ぜひ続けてみてください。

図１　おでこ体操
額に手をあてて抵抗を加えておへそをのぞき込む
５秒キープして５回で１セット。１日２セット。

図２　開口訓練
10秒間本気で口を開けて10秒間休むのを５回で１セット。１日２セット。

嚥下の機能低下は加齢だけでなく、特に脳梗塞、認知症やパーキンソン病が原因となることもあります。「そのような病気をお持ちで、むせる、熱がでるなどの症状がある方がいませんか?」おられたら、当院顎口腔機能治療部までご相談ください。

● 特集 2

第15回 年末ふれ愛コンサート

平成26年12月15日（月）歯学部F棟5階弓倉記念ホールにて、年末ふれ愛コンサートが開催されました。

初めに前田芳信病院長から開催の挨拶がありました。

1番目はスペシャルゲスト ユニバーサル・スタジオ・ジャパンからセサミストリートの人気キャラクター、エルモとクッキーモンスターが登場。
患者さんとそのご家族等が集まる会場が多いに盛り上がりました。
その他、研修歯科医や学部学生による歌やパフォーマンスが行われました。

パフォーマーによる歌

キャラクターとの記念撮影会

コンサートの間、2014シーズンにガンバ大阪が獲得した日本国内タイトル三冠のトロフィーやカップが会場内に展示されました。

その後抽選会が行われ、1等にはガンバ大阪から特別に提供された選手のサインが複数入ったユニフォームが贈られました。

村上伸也副病院長から終わりの挨拶

最後に出演者全員で「見上げてごらん夜の星を」の合唱

帰り際には口腔補綴科作のバルーンアートの配布が行われました。

● 特集 3

コンピューターで作るクラウン

口腔補綴科　中村 隆志

図1. コンピューターによる設計

図2. ブロックから削りだし

図3. 完成したクラウン（健康保険適用）

図4. CAD/CAMクラウンの研究例（マイクロCT解析）

図5. 歯学部附属病院に導入されたシステム（S-Wave、松風）

歯科では、金属を使ったクラウン（かぶせもの）が一般的でしたが、最近では、金属を使わずに、丈夫なせともの（セラミックス）や樹脂（レジン）だけで作ったクラウンが使われるようになりました。金属を使っていないので、歯と同じ色で、金属アレルギーの心配もありません。ただし、セラミックスやレジンは金属とは違い、強い力でかむと割れることがあるので、すべての患者さんに使えるわけではありません。

いままでは、このようなクラウンは歯科技工士が手作業で作っていましたが、1980年代の後半から実用化されたコンピューターを使った歯科用CAD/CAMシステムを使って作ることができるようになりました。歯を削ったり、型をとったりする作業は今までと同じですが、クラウンはコンピューターで設計し、セラミックスやレジンのかたまり（ブロック）から削りだして作ります（図1~3）。口腔補綴科では、CAD/CAMシステムを使ったクラウンについて、いろいろな研究を行ってきました（図4）。

昨年の4月に、CAD/CAMで作った樹脂のクラウンが、小臼歯に限って保険で作ることができるようになりました。歯学部附属病院では、最新のCAD/CAMシステム（図5）を導入し、セラミックスやレジンのクラウンが製作できる体制を整えました。このようなクラウンを希望される患者さんは、担当医に相談いただけると幸いです。

お口のマメ知識

「歯垢（プラーク）の細菌遺伝子検査」

予防歯科 科長　天野 敦雄

歯周病は、感染症です。病原性の高い歯周病菌は子供の口にはいませんが、18歳頃から口の中に住み着きます。他人の唾液を介しての感染が原因です（歯周病菌はうつるんです）。しかし、歯周病菌に感染してすぐに歯周病が起こるわけではありません。感染した若い頃から、歯周病が発症する中年期まで長い年月、歯周病菌は歯や歯ぐきの周りでじっと発症の時を待っています。

私は歯周病になるでしょうか?その不安にお答えするのが「歯垢（プラーク）の細菌遺伝子検査」です。プラークは800種類を超える細菌で構成されています。この中に歯周病菌がひそんでいると、30歳代後半以降に歯周病が発症する可能性は高くなります。また、歯周病菌は遺伝子型によって病原性が異なることも判っています。

予防歯科では、プラークの細菌遺伝子検査によって、プラーク中の歯周病菌の有無とその遺伝子型を調べます（健康保険未適用）。この検査の結果、歯周病発症の危険性が高いと判断された場合は、健康な歯ぐきをもつ若い頃から、一生涯を通じた定期的プロフェッショナルケアによって、歯周病の発症を予防します。歯周病の発症を予測して予防する。20歳代の若い方にこそ受けて頂きたい検査です。

10 月～ 12 月患者数等統計

外来患者数・入院患者数

	10月	11月	12月
平均入院日数	10.11日	8.71日	9.70日
1日当たり外来患者数	865人	902人	958人

初診患者数と紹介患者数比率

病院概要

診 療 日 ：月～金　　休診日：土日祝日、年末年始（12 月 29 日～ 1 月 3 日）

受付時間：【初診受付】8 時 30 分～ 11 時 30 分（初めて受診の方、紹介無し可）
　　【再診受付】8 時 30 分～ 15 時 00 分（原則として全科予約制）

住　　所：〒 565-0871　吹田市山田丘 1 番 8 号
電話番号：（代　表）06-6879-5111　（時間外）06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかることがありますので御承知ください。

夜間休日の緊急診療につきましは、あらかじめ、お電話（06-6879-2848）のうえお越しください。

入院患者さんへのご面会時間は、12 時から 19 時となっております。

診療内容
口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等

病院へのアクセス

http://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/hospital/hospital_000009.html

歯学部附属病院にお車でお越しの際は、西門（歯学部門）よりお越しください。なお、平日夜 10 時以降、土、日および祝日は、千里門よりお越しください。

看護師募集中！
—お問合せ—
歯学研究科総務課人事係
06-6879-2834 まで

2015.1